

地域の暮らしとせいさんをととのえる

研究内容

本学の工学部工業意匠学科(後にデザイン工学科)の共同研究室「第三生産技術研究室」では、1978年から東北・北海道を対象に「地域の暮らしと生産を高めるための実践的研究」を行っていた。筆者は1988年から共同研究に参画し、現在も共同研究の理念を基に継続している。具体的には地域産品開発(流通開発含む)、地域産品等の拠点施設の具現化等であるが、東日本大震災後は、特に手仕事を生業とし、甚大な被害を受けた宮城県石巻市雄勝(硯は国指定)の再生のための『雄勝いしのわプロジェクト』を立ち上げ、外部助成を受け「場・モノ・コト・人」づくりの再生支援を継続中である。



岩手県旧大野村の実践一人一芸の村

地域・産学連携の可能性

これまでの実践的研究では、地域自治体や産地組合等との受託研究で取り組んできている。東日本大震災後の雄勝硯生産販売協同組合への支援に関しては、石巻市との協定締結を行い取り組んできている。現在は、本学と登米市との協定締結(2018年)の基、「津山もくもくランドの活性化」を主目的とし、2019年の台風19号の水害被害の再生、人材育成、商品開発等に関する主課題に対する再生途の協議を継続中である。また岩手県西和賀北部(貝沢・若畑)地区の活性化推進事業に関し、町側の実行委員会から受託し、昨年度から調査及び活性化に向けての構想構築とその具現化の行動計画に基づく実践的研究を継続している。



石巻市との本学との協定締結

このテーマに関連する東北SDGs研究実践拠点 地域・地場産業振興拠点

このテーマに関連するプロジェクト研究所 地域のくらし共創デザイン研究所
マーケティングサポート研究所

このテーマに関連するSDGs開発目標



大野村拠点「おおのキャンパス」整備の具現化



ライフデザイン学部 生活デザイン学科 地域デザイン、空間デザイン

菊地 良覺 KIKUCHI Ryogaku

教授

執筆論文

宮城の地場産品復興支援「手のちから」プロジェクト

東北工業大学新技術創造研究センター紀要E O S Vol.25 No.1 P49 ~ P60. 2012